

## 弟子への決断⑥祝福の原則

ルカの福音書14章25-35節  
2013,4,21 HKJCF

### 概観

序)①イエス様は十字架を決断、都へ直進②旅での弟子訓練の後半(十字架)

- 1、弟子とは？
- 2、弟子の訓練 マルコ3:14-15
- 3、弟子の祝福原則(1),(2)  
(適用)手放すと祝福されると分かっているあなたが、手放しにくいものはなんですか？分かちあって祈りましょう

### I 弟子とは？

- 1、苦難の中にある人:福音・いやし・解放  
→苦難が恵みへ
- 2、群衆:神の国の教え・たとえ  
→たとえの力・やがてみ言が結実
- 3、弟子:愛の共同体の中での訓練  
⇒私たちは主の弟子である やがて去って行く群衆ではなく、イエス様を主とし、信仰でこの世を生きる献身者で、神の国の市民・神の子どもたちである

### II 弟子の訓練 マルコ3:14-15

- 1、身近に置く
- 2、福音宣教のための派遣
- 3、悪霊を追い出し、病をいやす権威  
⇒①弟子の訓練はイエス様との愛の共同体の中で、み言で養われ、聖霊の力を経験し、愛の共同体を再生産することだった  
②イエス様は時に、愛を持って叱責されることもあったが、体験を通して学ばせることが多かった

### III 弟子の祝福原則(1)

- 1、家族:情のつながりから愛の共同体へ
- 2、自分自身の十字架:献身・自我の死
- 3、ビジョンと方策:良いことと適用可能策
- 4、真の勝利と占領政策:敵を友とする愛
- 5、社会との関係:福音による社会改革  
⇒結局、中心は十字架による自我の死と聖霊による新生

### IV 弟子の祝福原則(2)

弟子の祝福原則の要約

- ①手放すことが祝福:弟子=管理者
- ②献身・聴従が出发点:祝福=み心の実現
- ③聴従・自我の死・刈込:多実=一粒の麦の原則・ぶどうの木と枝(ヨ12:24,15:2)